

令和6年度 環境基本計画に関する施策等の年次報告

重点エコプロジェクト達成状況

	年度	A	B	C	D	E
里山保全	R6	9	3	1	0	0
	R5	12	0	1	0	0
生物多様性	R6	6	3	0	1	0
	R5	5	3	1	1	0
低炭素社会	R6	4	6	2	1	0
	R5	5	4	3	1	0
資源循環	R6	9	1	0	0	1
	R5	3	4	1	2	1
合計	R6	28	13	3	2	1
	R5	25	11	6	4	1

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林整備活動団体や事業者と連携した体験講座等の実施

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手)

① 親子などを対象にした林業体験講座の実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	2講座	1講座	4講座	4講座	3講座を継続		
【内容】 農林	企業の森活動の適切な実施					A	A
【実績】 農林	(株)十六フィナンシャルグループ、アサヒビール(株)、東邦ガス(株)、(株)岐阜造園の4企業と共に実施した。						
② 山の恵みを知ることや、山菜取り、山菜料理体験を実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	1体験	1体験	1体験	1体験	1体験を継続		
【内容】 農林	上之郷中学校において、山に関わる体験を継続して実施する。 <上之郷中学校> ・茶園除草活動 ・茶摘み、茶もみ体験活動 ・焙炉、茶話会活動					C	A
【実績】 農林	上之郷中学校では茶園を維持する活動として、除草作業などの実践的な体験を継続的に実施している。						
③ 里山・森林を知る散策ルートなどのリニューアル	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	継続中		
【内容】 農林	県補助事業による林道補修の確実な実施					A	A
【実績】 農林	林道桜本線の舗装補修を実施した。						

里山・森林の保全を学ぶ (担い手の育成)

④ 幼・保・小・中・高等学校での環境教育 (森林環境学習含む) や生涯学習講座で里山・森林の現状を学ぶ	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	小中高で実施中	実施中	実施中	実施中	多世代の環境教育を推進		
【内容】 農林	2講座の実施					A	A
学教	全校で年間2講座を実施する。						
生学	成人講座でみたけの森散策を実施する。					A	A
【実績】 農林	3講座の実施 (共和中学校の林業体験及び御嵩小学校出前講座、向陽中学校総合学習)						
学教	各小中学校において社会科、生活科、総合的な学習の時間等を活用しながら、14講座 (R5:13講座) を実施した。						
生学	成人講座で、5月にみたけの森の植物観察講座を実施し、湿地の樹木や植物について学んだ。						
企環	幼保から大人までを対象とした木育講座を8講座 (R5:6講座) 実施した。						

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

⑤ 児童生徒を対象にした林業体験の実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	2講座実施	5講座実施	1講座実施	林業体験を継続		
【内容】 農林 2講座の実施 学教 年間2講座を実施する。						A	B
【実績】 農林・学教 共和中学校を対象に、水土里隊拠点において「山の研修」と題した林業体験を実施した。							
⑥ 里山・森林整備活動団体（事業者含む）のメンバーを増やす	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	水21名 企2団体	水22名 企4団体	水14名 企4団体	水15名 企4団体	水25名 企4団体		
【内容】 農林 1名以上の新規入隊						A	C
【実績】 農林 1名の入隊と2名の新規入隊希望あり。随時募集しているが目標には至っていない。							
⑦ 里山・森林保全の先進地で視察や体験研修を実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	1研修	代替事業の実施	1研修	代替事業の実施	1研修を継続		
【内容】 企環 環境都市交流体験プロジェクト（北海道下川町への派遣）を実施する。						A	B
【実績】 企環 事業見直しにより交流体験は未実施だったが、代替事業として町民を対象にした木育体験講座を実施した。							

里山・森林などの資源を活用する

⑧ 空き家などを活用した農業体験の実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	実施中	実施中	継続中	事業を継続		
【内容】 農林 農業体験施設を拠点とした体験を実施						A	B
【実績】 農林 R6より農業体験施設の宿泊者予約のオプションとして提供している（利用者は0名）。							
⑨ 間伐材や竹の利活用の検討（薪やスプーン、おもちゃづくりなど）	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	継続中	継続中	継続中	活動を継続		
【内容】 農林 間伐材を活用した事業の展開						A	A
【実績】 農林 水土里隊が作成した薪を中山道みたけ館、わいわい館へ提供した。							
企環 間伐材や竹を利用した体験講座（木のターナーやスツール、竹の水鉄砲など）を行い、利活用の啓発を行った。							

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林などの現状を伝える

⑩ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標（R6）	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 農林 各企業との協働による森林づくり活動						A	A
【実績】 農林 3企業の活動を町広報誌でPRした。							
⑪ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標（R6）	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教 小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。						A	A
【実績】 学教 学校の取組は随時学校HP等により行っている。環境フェアでは各中学校及び御嵩小学校が出展した。							
⑫ 里山・森林整備活動団体や住民から情報収集を行うとともに、里山・森林整備活動団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標（R6）	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 農林 森林管理委員会の実施						A	A
【実績】 農林 森林管理委員会を実施した。環境フェアでは水土里隊による活動の展示を行った。							
⑬ 里山・森林への視察などを受け入れる	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標（R6）	前年評価	本年評価
	随時	3	1	2	継続		
【内容】 農林 林業団体1件以上の受け入れの実施						A	A
【実績】 農林 佐賀県唐津市、京都大学の視察を受け入れた。							

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

希少野生生物のことを知ろう

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手) 

① 生物環境アドバイザーや有識者などと連携し、必要に応じて御嵩町版レッドデータブックの改訂を検討	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	改定版	検討中	検討中	データ集・分析を検討中	改定版を検討		
【内容】 企環 レッドデータブックの改訂に向け庁内で検討する。						D	D
【実績】 企環 盗掘の恐れ等もあり、レッドデータの公開方法は慎重に判断する必要があるが、希少種を含む生物多様性の現状を把握するためにデータの収集・分析が不可欠。まずは調査・分析を実施するための人材と費用の確保が必要。							
② みたけの森などで自然観察会や生き物調査などの実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	未実施	4講座	5講座	4講座	事業を継続		
【内容】 企環 自然観察会を継続する。カワゲラウォッチングを実施する。						A	A
【実績】 企環 観察会と生き物調査を合計4回 (R5:5回) 実施した。 (森の植物観察会2回、森の野鳥観察会1回 (雨天のため1回中止)、カワゲラウォッチング1回)							
③ 希少野生生物などが生息する貴重な場を見て知っていただくための整備をボランティア団体 (個人含む) などとともに進める	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	整備を継続		
【内容】 企環 前沢湿地の環境改善に向けた作業を実施するとともに、経過観察を継続する。						A	A
【実績】 企環 12/1に学識者と生物環境アドバイザーで前沢湿地の保全作業を行った (9/22にも予定してたが雨天のため中止)。止水堰による滞水域の確保や樹木・ツル類の伐採による光環境の改善など、状況に応じた保全作業を継続していく。							
④ 幼・保・小・中・高等学校での環境教育や講師派遣講座などで希少野生生物の現状を学ぶ	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年評価	本年評価
	小中高で実施中	小・中で実施	小・中で実施	小・中で実施	多世代の環境教育を推進		
【内容】 企環 自然体験学習や環境学習等へ講師を派遣する。 学教 小中学校の環境学習等へ講師を派遣する。						B	B
【実績】 企環・学教 小中学校の環境学習として、合計6回 (R5:5回) 生物環境アドバイザーや町職員を講師として派遣した。 カワゲラウォッチング (御嵩小4年・共和中1年・向陽中1年)、総合学習 (御嵩小3・4年・伏見小4年)							

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

外来種が及ぼす影響を知ろう

⑤ 自治会と連携した外来種（オオキンケイギクやアレチウリなど）の生息調査	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	マップの更新を継続		
【内容】 企環 生息状況について情報収集をおこないマップを更新する。						C	B
【実績】 企環 自治会等から得た情報等に基づいて、生息・分布状況を確認しマップを更新中（今年度の情報提供は0件）。							
⑥ 自治会や各種機関と連携した外来種の駆除活動の実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	団体と 駆除活動を実施	国・団体と 駆除活動を実施	国・団体と 駆除活動を実施	自治会と連携し た活動を実施		
【内容】 企環 国交省や各種団体と連携し、駆除活動を実施する。						B	B
【実績】 企環 5/13に伏見地内で国交省の協力によりオオキンケイギクの駆除活動を実施し、町民や町生物環境アドバイザーなど26名が参加した。また、任意団体が実施した駆除活動において、必要物品の支給等の支援をした。							

希少野生生物や外来種の現状を伝える（担い手の育成）

⑦ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企環 ささゆりまつりと環境フェアでブースを出展する。						B	A
【実績】 企環 夏休みの自由研究でセアカゴケグモを調査した小学生が新聞に掲載された。その研究の中で、小学生から町に駆除方法について取材があり協力した。また、都内では絶滅危惧種になっているアオゲラを、多くの人に知ってもらうために剥製にし庁舎玄関ホールで展示中。							
⑧ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企環 環境フェアにて関係団体がブース出展し、学校が展示や発表を行う。 学教 小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。						A	A
【実績】 企環・学教 学校の取組は随時学校HP等により行っている。環境フェアでは、小・中・高校や企業、各種団体など合計33団体による体験・展示が行われ、複数のブースで湿地や希少野生生物等に関する普及啓発が行われた。							

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

⑨ 環境保全団体や住民から情報収集を行うとともに、環境保全団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企環	各団体・住民から情報を収集するとともに、各団体・住民が情報を発信する場を提供する。					A	A
【実績】 企環	今年度から開始した「環境保全地域活動スタートアップ支援補助金」を2団体が活用し環境保全活動を実施。他の住民にも活動を拡げる取り組みも行われている。						
⑩ 希少野生生物の保護や外来種の適切な駆除・指導ができるリーダーの養成	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	—	—	—	リーダー養成につ ながる自然観察会 を継続		
【内容】 企環	自然観察会等を継続的に実施し、アドバイザー候補者の掘り起こしを行う。					A	A
【実績】 企環	有識者による野鳥観察会・野草研究者と歩く植物観察会を合計3回実施し、多様な年齢層の住民に対して植物等への関心を掘り起こすきっかけづくりができた。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

ノーマイカーデー運動の推進

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手)

① ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体を増やす	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	21団体	22団体	22団体	22団体	26団体		
【内容】 企調	ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体が増えるよう啓発活動を行い、26団体以上の登録を目指す。					B	B
【実績】 企調	HP等で参加団体に周知したものの、現時点で新たな登録には至らなかった。						
② ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体の活動実績報告を公表	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	未実施	一部公表済	一部公表済	公表済		
【内容】 企調	ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体の活動実績報告等を公表する					C	C
【実績】 企調	賛同事業者はホームページにて公表しており、活動実績の一部公表を行った。実績報告が事業所の負担になると伺っており、仕組み自体の改善を進める。なお、御嵩町役場は10年以上エコ通勤の取組を行ってきたことから、公共交通利用推進等マネジメント協議会及び（公財）交通エコロジー・モビリティ財団より、エコ通勤優良事業所に登録された。						

公共交通機関の利用促進

③ 小・中学校で名鉄広見線は地域にとって必要な社会インフラとの認識を高める交通環境学習を推進	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	全小・中学校で実施	50%実施	83%実施	83%実施	全小・中学校で実施		
【内容】 企調	社会見学、校外学習などで名鉄広見線を利用する。					B	B
【実績】 企調	町内にある小中学校全6校のうち5校で校外学習等で利用したと報告されている。実施できていない学校には個別に協議していく。なお、幼保の園児や乳幼児家庭教育学級の幼児も校外学習等で利用している実績があり、幼少期からの公共交通についての意識醸成が後押しされている。						
④ コミュニティバスの利用者を増やす	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	25,923人 (H27)	23,500人 (推計)	25,535人 (推計)	24,300人 (推計)	25,000人		
【内容】 企調	御嵩町地域公共交通網形成計画の策定後、各アクションプランを進めていくことで利用者増を図り、年間利用者数：25,000人以上とする。					A	B
【実績】 企調	R6年度のふれあいバス利用者は13,632人（4～1月計）、ふれあい予約バスは7,120人（4～1月計）となり、前年度比でふれあいバスは約18%増、ふれあい予約バスは約14%減となった。年間利用者計は約24,300人と推計している。R6年度の新たな取組として、岐阜県知事選挙の期日前投票所への移動支援等のため両コミュニティバスの無料乗車を実施した（1/14～1/24のうち9日間）。1月期の利用者は、ふれあいバスで前年度比+361人、ふれあい予約バスで+50人となり、利用機会の創出に効果が認められた。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑤ コミュニティバスのバス停や運行ダイヤ等の見直し	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	随時	随時	随時	随時	随時		
【内容】 企調	必要に応じてバス停の見直しやルート変更を行い、バスの利便性向上に努める。					A	A
【実績】 企調	R6年度はバス停の設置・移動、運行ダイヤ、ルート変更に関する要望が寄せられなかったため、見直しはしていない。						
⑥ 沿線お出かけイベントなどで名鉄広見線（定期外）利用者を増やすとともに利用プラスワン運動の推進	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	178,057人	152,000人 (推計)	164,500人 (推計)	155,500人 (推計)	180,000人		
【内容】 学教	全校で年間1回以上、目的地まで名鉄広見線利用を実施する。					B	B
企調	沿線お出かけイベントなどで名鉄広見線（定期外）利用者を増やすとともに、新型コロナウイルスの影響により減少した各種定期券利用者を元に戻す。						
農林・楽興	子どもが安心して電車に乗る楽しみを体験できるよう、継続して実施する。						
【実績】 学教	上之郷中学校音楽祭（可児市文化創造センター）等、4校で7回（R4：11回）実施した。						
企調	名鉄との共働により、広見線フリー乗降と割引等のサービスを受けられる企画きっぷである「みたけ・可児散策きっぷ（4月～）」を販売し、843人（4～12月）（前年同期間比：▲27人）の利用があった。また、企画きっぷと連動した謎解きイベントを開催し、415人（7～12月）（前年同期間比：▲69人）の利用があった。その他、活性化協議会のイベント等により、定期外利用者は103,690人（4～11月）（前年同期間比：▲5,974人）となった。なお、定期利用者確保に向けては、補助申請手続きのオンライン化による利便性向上や、フリーペーパー等で補助制度の周知を行った。						
生涯	乳幼児合同家庭教育学級で、御嵩から可児市までの移動に名鉄広見線を利用する家族学級を計画したが、雨天のため実施できなかった。						

移動によるCO₂（二酸化炭素）排出を削減

⑦ 電気自動車の急速充電器利用者（御嵩駅前駐車場）や各企業の普通充電器の利用者を増やす	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	60回/月	107回/月 (11月まで)	—	—	180回/月		
【内容】 企環	ホームページ等で周知を継続し利用者数の維持を図る。					C	B
【実績】 企環	御嵩駅前駐車場に設置した急速充電器については継続して町HPで周知している。充電スタンドのポータルサイトにも掲載されており、利用啓発につながっている。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑧ 御嵩駅のレンタサイクル利用者を増やす	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
		279人 (H26)	145	99 (1月末)	80 (2月末)		
【内容】 まち	引き続き収益事業として持続可能なレンタサイクル事業を展開し、財源確保に努める					C	C
【実績】 まち	春・秋の観光シーズンにはレンタサイクルの利用者がみられるが、周遊コースなどを含めた周知が必要と考えられる。将来的に「中山道」や「新丸山ダム」などを電動アシスト自転車で周遊できるしくみづくりを検討しているが、実現には至っていない。						
⑨ 自転車移動ができる魅力ある観光地巡り旅の考案	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
		未実施	未実施	未実施	未実施		
【内容】 まち	作成したサイクリングマップを活用し、コロナ化を見据えた周遊イベントを開催していく					D	D
【実績】 まち	将来的に「中山道」や「新丸山ダム」などを電動アシスト自転車で周遊できるしくみづくりを検討しているが、実現には至っていない。						

ノーマイカーデー運動の推進や公共交通機関の利用を伝える

⑩ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
		—	—	—	—		
【内容】 企調	「中山道往来」などのイベントへ名鉄を利用するよう促す・イベント告知の際に、公共交通機関の利用を推進する。・活性化協議会のイベント等を様々な媒体を活用して周知し、利用促進に効果のある情報発信を行う。・イベント「御嵩あかでんランド」内のアトラクション要素として電車を利用していただく仕組みを多く取り入れ、町内外の利用啓発を図る。					A	A
【実績】 企調	「でんしゃ旅」「よってりゃあみたけ」では、電車来訪者に特典を付与する事業を行った。10月からは、名鉄130周年を記念した缶バッジラリーに参画し、みたけ・可児散策きっぷの購入者にプレゼントをするということで、電車利用を促した。また、ららマガジンにも名鉄広見線の補助内容や、イベント案内を掲載、ラジオでも放送し周知を図った。						
⑪ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
		—	—	—	—		
【内容】 企調	環境フェア等にて団体とともに、公共交通の利用を推進する情報発信および展示を行う。					A	A
【実績】 企調	環境フェアでは、環境にやさしい公共交通についてのパネル展示、赤い電車ペーパークラフト配布を行った。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑫ 各種団体や住民から情報収集を行うとともに、各種団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企調	活性化協議会のイベント補助制度を周知し、各種団体がイベントを実行しやすい環境を整える・団体の集まりやイベント時に公共交通機関を利用するよう周知する・町民等による自主組織活動（御嵩あかでんランド実行委員会、名鉄広見線を守ろう会等）をHPやSNSで取り上げ、町全体が一丸となって展開していることを積極的にPRしていく。					A	A
【実績】 企調	活性化協議会のイベント補助制度を5団体に活用いただき、イベントを実行しやすい環境を整えた。名鉄広見線を守ろう会の活動に賛同し、告知活動のサポートや団体利用の補助を行った。						
⑬ コミュニティバスや名鉄広見線の乗り継ぎなどを分かりやすく表示する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	改善中	改善中	未実施	表示済み		
【内容】 企調	名古屋鉄道に対して、主に観光案内に関する有用性を説くことによりデジタルサイネージの設置について折衝を進める。					B	B
【実績】 企調	御嵩駅等でのデジタルサイネージの設置については検討しているものの、費用対効果が測定できていないことや取扱方針が定まっていないことから、設置には至っていない。他方、主たる目的である乗継を含む利用方法の分かりやすさを向上させるため、御嵩駅観光案内所の機能については、御嶽宿界隈のにぎわいづくりにおいてさらに効果が高まるように見直しを検討していく。						

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

堆肥などによる生ごみの減量化

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手)

① 各家庭において生ごみの堆肥化に取り組む	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	280人	422	440	459	430人		
【内容】 住環	ダンボールコンポスト講習会の開催や、広報誌等を活用し周知を図る。					D	A
【実績】 住環	6月29日にダンボールコンポスト講習会を開催し、31名の参加があった。						
② ダンボールコンポストなど堆肥化する機器の普及（補助金の活用）	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	280人	422	440	459	430人		
【内容】 住環	生活環境施設補助金の交付件数を25件を目指す。					B	A
【実績】 住環	生活環境施設整備補助金は2月末で19件（R5:18件）交付した。うちダンボールコンポストは3基交付し、その他に設置型コンポスト2基、電動式生ごみ処理機7基、剪定枝葉粉碎機5基、堆肥化密閉容器2基であった。						
③ 料理教室やエコクッキング講座の実施	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	年1回 20人	0	0	0	40人		
【内容】 住環	講座の開催だけでなく、広く周知を図る方法を検討する。					D	E
【実績】 住環	講座の開催は未実施。						

グリーンカーテンづくりでエコと緑を育む

④ 各家庭や事業所においてグリーンカーテンづくりに取り組む	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教	＜上之郷小学校＞ ・グリーンカーテン作り（4年生）					B	A
企環	節電チャレンジの実施項目の一つとして取り組みを呼びかける。						
住環	プランターでおかわかめの緑のカーテン作り講習会を定員40名でわいわい館等で開催する。						
【実績】 学教	他の事業実施に係り、本事業は未実施であった。						
企環	夏の取組み実績のうち、グリーンカーテンやすだれなど、日射への対策をした家庭は88.9%(R5:66.3%)であり、多くの家庭で日射対策が浸透している。						
住環	6月29日のダンボールコンポスト講習会に併せてグリーンカーテン講座を開催した。（参加者31名）						

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

⑤ 住民と行政の協働により公共施設にグリーンカーテンなどで空間の緑化を実施する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	12施設 (全28施設)	実施	実施	個人向けに実施	公共施設にて実施		
<p>【内容】 企環・住環 公共施設でグリーンカーテンの働きかけを継続するほか、公共施設で個人向けグリーンカーテンの普及啓発を行う。</p> <p>【実績】 企環・住環 6月29日のダンボールコンポスト講習会に併せてグリーンカーテン講座を開催した。(参加者31名) また、個人向けのグリーンカーテン啓発活動として、役場窓口や公民館、わいわい館などで、アサガオの種をあわせて500セット配布した。</p>						A	A
⑥ グリーンカーテンコンテストや育った食材で作るお料理アイデアの募集	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	未実施	未実施	イベント実施済	イベント実施済み		
<p>【内容】 住環 グリーンカーテン作りに取り組める講座を開催する。</p> <p>【実績】 住環 6月29日のダンボールコンポスト講習会に併せてグリーンカーテン講座を開催した。(参加者31名)</p>						E	A
⑦ グリーンカーテンと節電などでCO ₂ 排出量削減を目指す	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	86.7%	66.3%	88.9%	60% 取組実績		
<p>【内容】 企環 節電チャレンジの継続と実施世帯の増加を目指す。</p> <p>【実績】 企環 節電チャレンジを夏と冬の2回実施した。夏の取組み実績のうち、グリーンカーテンやすだれなど、日射への対策をした家庭は88.9%(R5:66.3%)だった。</p>						B	A

ごみの減量化やグリーンカーテンの有効性を伝える

⑧ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP(SNS含む)、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
<p>【内容】 住環 環境フェア等でごみ減量のPRを行う</p> <p>【実績】 住環 環境フェアにおいて、令和7年2月に臨時回収した陶磁器類のうち使えるものをリサイクル推進のため配布した。臨時回収は2月に回覧と防災行政無線により広報した。(R4:環境フェアから実施) 広報誌ほっとみたけ6月号で「ごみダイエットについて」と題して、2月号で「分別収集に取り組もう」と題して、ごみの減量とリサイクルについて、PRを実施した。 6月29日のダンボールコンポスト講習会に併せてグリーンカーテン講座を開催した。(参加者31名)</p>						C	A

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

⑨ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教 小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。 住環 団体の活動成果を環境フェアなどで発表する。						A	A
【実績】 学教 学校の取組は随時学校HP等により行っている。環境フェアでは各中学校及び御嵩小学校が出展した。 住環 生活学校が廃油石鹸を作り環境フェアで配布するとともに、リサイクルステーションの運営に関する展示を行った。							
⑩ 各種団体や住民から情報収集を行うとともに、各種団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 住環 各種団体と協議し、周知を図る						B	B
【実績】 住環 松野湖クリーン作戦や可児川クリーンキャンペーンを計画・実施し、住民、各種団体等が参加した。このことにより、各種団体等が、アピール出来る環境を整えた。(可児川クリーンキャンペーンは降雪により当日実施中止)							
⑪ 環境モデル都市として、地球温暖化や温室効果ガス削減をテーマにした作品展の開催	計画策定時	R4	R5	R6	計画時の目標 (R6)	前年 評価	本年 評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	作品展の 継続		
【内容】 企環 作品展の開催を継続し、環境意識の向上を図る。						A	A
【実績】 企環 今年度より「こども未来の環境作品展」として環境問題全般をテーマとした作品を募集し、20点の応募があった(R5:28点)。応募作品は、中山道みたけ館と環境フェアにおいて展示し、応募者以外の方に対しても環境への意識向上を働きかけることができた。							